

○議長（茅沼隆文）

以上で、議案第26号 平成28年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算の説明を終了いたします。

続いて、議案第27号 平成28年度開成町水道事業会計予算の細部説明を担当課長に求めます。

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

それでは、予算書の331ページをお開きください。

議案第27号 平成28年度開成町水道事業会計予算。

総則。

第1条。平成28年度開成町の水道事業会計予算は、次に定めるところによる業務の予定量。

第2条。業務の予定量は、次のとおりとする。1号、給水装置個数、7,370個、2号、年間総給水量、191万4,651立方メートル、3号、一日平均給水量、5,245立方メートル、4号、主な建設改良事業費、1億912万1,000円、イ、拡張事業費、620万円、ロ、増設改良事業費、1億292万1,000円。

収益的収入及び支出。

第3条。収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。収入。第1款水道事業収益、2億3,934万4,000円、第1項営業収益、2億1,917万4,000円、第2項営業外収益、2,017万円。支出。第11款水道事業費用、2億3,934万4,000円、第1項営業費用、1億7,539万9,000円、第2項営業外費用、3,054万3,000円、第3項予備費、3,340万2,000円。

資本的収入及び支出。

第4条。資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1億964万3,000円は、過年度分損益勘定留保資金1億339万8,000円、当年度分資本的収支調整額624万5,000円で補てんするものとする。

収入。第2款資本的収入、6,652万4,000円、第1項分担金、666万円、第2項負担金、86万4,000円、第5項企業債、5,900万円。支出。第12款資本的支出、1億7,616万7,000円、第1項建設改良費、620万円、第2項増設改良費、1億292万1,000円、第3項企業債償還金、6,404万6,000円、第4項予備費、300万円。

次のページをお開きください。

企業債。

第5条。起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。起債の目的、配水施設整備事業、限度額、5,900万円、起債の方法、利率、償還の方法は、記載のとおりです。

一時借入金。

第6条。一時借入金の限度額は2,000万円と定める。

議会の議決を経なければ流用することのできない経費。

第7条。次に掲げる経費については、その経費の金額をそれ以外の経費の金額に流用し、又は、それ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。1号、職員の給与費、3,371万4,000円。

たな卸資産の購入限度額。

第8条。たな卸資産の購入限度額は1,060万1,000円と定める。

平成28年3月4日提出、開成町長、府川裕一。

それでは、別冊の開成町歳入歳出予算書説明資料の78、79ページをお開きください。

歳入です。

収益的収入、水道事業収益、営業収益、給水収益の水道使用料は、水道使用料収益として7,370件の6期分を見込んでおります。前年度に比べ351万8,000円、約2.1%の減額となります。

受託工事収益の給水工事加入金は、受託給水工事加入金として211件を見込んでおります。前年度に比べ394万2,000円、約10.1%の増額となっております。

その他の営業収益の手数料は、給水工事設計審査200件、開始・中止1,580件、給水工事指定申請2件、閲覧交付手数料200件と下水道料金徴収料などの手数料を見込んでおります。

2段飛ばしまして、他会計負担金は、消火栓維持管理費として378基の管理費を計上しております。

営業外収益、預金利息は、定期預金、東京都公募債、横浜市債、かながわ県民債に係る預金利子で、長期前受金戻入益は、減価償却額のうち補助金で取得しました金額の戻入益です。

一段飛ばしまして、資本的収入です。資本的収入、分担金の配水管布設分担金は、下水道工事に伴う配水管布設替え工事2件に係る分担金です。

負担金の他会計負担金は、消火栓交換1カ所、消火栓保守1カ所に係る負担金です。

企業債は、配水管布設工事等を行う配水施設整備事業の起債です。

次の80、81ページをお開きください。

歳出になります。

収益的支出です。水道事業費用、営業費用の原水浄水配水及び給水費は、水質検査、滅菌装置保守点検、電気設備、保安等の委託、漏水当番経費や給・配水管の維持管理経費、高台第一・第二浄水場緊急遮断弁の点検、高台第二浄水場残留塩素計保守点検等を行うものです。こちらの中で残留塩素の「素」という字が抜けていますので、すみません、追加のほうをお願いします。

続きまして、受託工事費は、舗装復旧、緊急用工事費など給水工事等の受託給水工

事に関する経費の支払いをするものです。

総係費は、職員の給与や水道事業運営上全般に要する経費で、テレメータの回線利用による浄水場施設の監視や、現在使用しています企業会計システム保守料等でございます。

有形固定資産償却費は、有形固定資産の減価償却経費です。

資産減耗費は、有形固定資産の除却経費です。有形固定資産償却費、資産減耗費につきましては、実質の歳出はありません。

一段飛ばしまして、営業外費用の支払利息は、水道事業債46件に係る利子返済を行う費用です。

消費税は、水道事業に係る消費税、地方消費税の確定申告、中間申告を行う費用です。

一段飛ばしまして、予備費は3,340万2,000円です。

続きまして、資本的支出です。資本的支出、建設改良費の拡張事業費は、町道119号線配水管布設工事を行う費用です。

増設改良費の配水施設整備工事費は、職員の給与や下水道に伴う配水管布設替え工事2件と消火栓交換1カ所、消火栓修繕1カ所、浄水場改修工事4件を行うものです。工事場所につきましては、説明資料の後ろに資料3として工事箇所を添付してありますので、後ほどご覧いただきたいと思っております。

メータ費は、8年経過しました検満メータの交換工事及びメータの購入を行う費用でございます。

企業債償還金は、水道事業債41件に係る元金返済分です。

予備費は、昨年と同額の300万円を計上しております。

恐れ入りますが、予算書の337ページをお願いします。

平成28年度開成町水道事業予定キャッシュ・フロー計算書です。平成28年4月1日から平成29年3月31日までです。

1の営業活動によるキャッシュ・フローです。(1)当年度純利益2,774万9,217円と(2)営業活動から得た現金預金への当年度純利益の調整、イからホまでを加えた小計1億4,130万1,258円に、受取利息及び配当金受入額、支払利息及び企業債取扱諸費の支払額を加えた営業活動から得た現金預金(純額)は、1億1,810万3,258円となります。

次に、投資活動によるキャッシュ・フローです。(1)の固定資産の取得による支出(建設改良費)から(6)の投資活動に伴う現金預金の調整まで、投資活動から得た現金預金(純額)はマイナス9,535万1,076円となります。

次に、3の財務活動によるキャッシュ・フローです。(1)の企業債の発行と(2)の企業債の償還の合計が財務活動から得た現金預金(純額)となり、マイナス504万6,000円となります。

4の現金預金及び現金等価物増加額・減少額は1,770万6,182円の増額となり、5の現金預金及び現金等価物期首残高5億2,328万5,680円を加えま

した6の現金預金及び現金等価物期末残高は5億4,099万1,862円となります。

342ページをお開きください。

平成27年度開成町水道事業予定貸借対照表(税抜き)です。平成28年3月31日現在の予定でございます。

資産の部。1の固定資産、(1)有形固定資産、イの土地からトの建設仮勘定まで、有形固定資産合計26億9,671万1,523円。(2)無形固定資産は、イの電話加入権21万3,040円です。(3)投資その他の資産は、イのリサイクル預託金9,130円です。固定資産合計は、26億9,693万3,693円となります。2の流動資産は、(1)の現金預金から(3)貯蔵品まで流動資産合計は5億5,977万1,778円となり、資産合計は32億5,670万5,471円です。

次のページをご覧ください。

負債の部です。3の固定負債は(1)企業債と(2)引当金、イの修繕引当金で、固定負債合計は10億4,840万1,672円です。4の流動負債は(1)の一時借入金から(4)の引当金まで、流動負債合計は7,688万6,884円です。5の繰延収益は(1)長期前受金、イの国県補助金からホの受贈財産評価額まで、繰延収益合計は5億4,393万2,967円で、負債合計は16億6,922万1,523円です。

次のページをご覧ください。

資本の部です。6の資本金は(1)自己資本金、イの固有資本金からハの出資金まで、資本金合計14億2,896万3,074円です。7の剰余金は(1)利益剰余金、イの建設改良積立金からハの当年度未処分利益剰余金まで、剰余金合計は1億5,852万874円です。資本合計は、15億8,748万3,948円です。負債資本合計は、32億5,670万5,471円になります。

次の346ページをお願いします。

平成28年度開成町水道事業予定貸借対照表(税抜き)です。平成29年3月31日現在の予定でございます。

資産の部。1の固定資産は、(1)の有形固定資産、イの土地からトの建設仮勘定まで、有形固定資産合計26億8,615万9,266円です。(2)無形固定資産は、イの電話加入権21万3,040円です。(3)の投資その他の資産は、イのリサイクル預託金9,130円です。固定資産合計は、26億8,638万1,436円です。2の流動資産は、(1)の現金預金から(3)の貯蔵品まで流動資産合計は5億7,928万7,331円となり、資産合計は32億6,566万8,767円です。

次のページをご覧ください。

負債の部です。3の固定負債は(1)の企業債と(2)の引当金、イの修繕引当金で、固定負債合計は10億4,698万3,672円です。4の流動負債は(1)の一時借入金から(4)の引当金まで、流動負債合計は7,247万2,296円です。

5の繰延収益は(1)の長期前受金、イの国県補助金からホの受贈財産評価額まで、繰延収益合計は5億3,097万9,634円です。負債合計は16億5,043万5,602円です。

次のページをご覧ください。

資本の部です。6の資本金は(1)の自己資本金、イの固有資本金からハの出資金まで、資本金合計は14億2,896万3,074円です。7の剰余金は(1)利益剰余金、イの建設改良積立金からハの当年度未処分利益剰余金まで、剰余金合計は1億8,627万91円です。資本合計は、16億1,523万3,165円です。負債資本合計は、32億6,566万8,767円です。

次の350ページをお願いします。

平成27年度開成町水道事業損益計算書(税抜き)見込みです。平成27年4月1日から平成28年3月31日までです。

1の営業収益は(1)の給水収益から(3)のその他の営業収益まで、2億487万1,150円です。2の営業費用は(1)の原水浄水配水及び給水費から(6)の材料売却原価まで、1億6,454万5,676円です。営業収益は、4,032万5,474円となります。3の営業外収益は(1)の受取利息及び配当金から(5)の雑収益まで、2,004万4,792円です。4の営業外費用は(1)の支払利息と(2)の雑支出が2,536万6,593円です。したがって、営業外費用はマイナス532万1,801円となります。5の特別損失は計上がありません。経常利益としまして3,500万3,673円となり、当年度純利益としまして3,500万3,673円を見込んでおります。前年度繰越利益剰余金として3,040万7,201円です。当年度未処分利益剰余金としまして、6,541万874円を見込んでおります。

次の352ページをお願いします。

開成町水道事業会計予算、作成における注記です。昨年度との変更箇所は、3の予定貸借対照表等に関する注記、引当金の取崩しの賞与引当金、法定福利費引当金の取崩しです。平成29年6月に賞与及びこれに係る法定福利費を支出するため、平成28年12月から平成29年3月分にあたる賞与引当金188万円及び法定福利費引当金34万7,000円を取り崩すとしております。それ以外の記載の内容は、昨年と変更ありません。

以上で説明を終わりにします。

○議長(茅沼隆文)

以上で、議案第27号 平成28年度開成町水道事業会計予算の説明を終了いたします。

以上で本日の日程は終了いたしました。5日目の会議は、明後日、11日午前9時から行います。

本日は、これにて散会いたします。

なお、議員諸君については、15分ぐらいの休憩の後に全協室にお集まりいただき

ますようお願いいたします。

午前10時00分 散会